

地方公共団体での図上訓練実施概要 (長野県箕輪町・和歌山県那智勝浦町)

応急対策室

1 はじめに

長野県箕輪町、和歌山県那智勝浦町で行いました図上訓練は、地方公共団体の地震防災訓練(図上訓練)実施要領モデルの作成に関する調査研究(平成17年度)事業として実施しました。

当調査研究は、人口10万人未満の市町村(2市町村)を対象として、図上訓練を試験的に実施し、その結果を評価・分析することにより、図上型防災訓練の実施要領を活用する上での留意点・課題をさらに整理し、より実践的・効果的な訓練のあり方についての調査研究に資することを目的としています。

(1) 調査研究対象とする災害・事象

主に津波、土砂災害を含む地震災害を想定

(2) 調査内容

大規模災害発災時における活動体制、情報収集・伝達、広報、避難・救出などの初動体制の検証

2 訓練実施日

(1) 長野県箕輪町

平成17年12月2日(金)～3日(土)

(2) 和歌山県那智勝浦町

平成18年1月29日(日)～30日(月)

3 訓練概要

(1) 市町村職員を対象とした図上型防災訓練の実施

ア 長野県箕輪町……伊那谷断層において、マグニチュード7.9の地震が発生したとの想定に基づき、災害対策本部の立ち上げなどの初動体制等について、図上シミュレーション訓練を実施しました。

(町長以下職員40名)

イ 和歌山県那智勝浦町……東南海・南海地震が同時発生したとの想定により高さ5mを超える津波が発生したとの想定に基づき、災害対策本部の立ち上げなどの初動体制等について、図上シミュレーション訓練を実施しました。

(町長以下職員36名)

—— 長野県 箕輪町 シミュレーション訓練 風景 ——



災害対策本部の様子



町長による各部署への指示風景

—— 和歌山県 那智勝浦町 シミュレーション訓練 風景 ——



災害対策本部で総務課長に状況説明



町長による模擬記者会見の様子

(2) 住民参加「防災ワークショップ」の実施

地域住民の皆さんに防災訓練の重要性、必要性をさらに理解していただくため、また、地域防災力を強化するために効果的である地図を活用したD I G

訓練を内容とした、住民参加「防災ワークショップ」を実施しました。

ア 長野県箕輪町 (参加者 住民34名)

イ 和歌山県那智勝浦町 (参加者 住民35名)

—— 長野県 箕輪町 D I G 風景 ——



下古田、上古田、富田、三日町、福与の各地区住民によるD I G訓練風景

—— 和歌山県 那智勝浦町 D I G 風景 ——



宇久井地区住民によるD I G訓練風景

4 結 果

被害想定、地勢の異なる町を対象として、より実戦的な図上型防災訓練を実施することにより、図上型防災訓練の実施促進を図る上での前年度研究会報告書で示したマニュアルの検討及び更なる課題を洗い出すことができた。

また、災害対策本部をより適切に運営していくためには、情報の収集、整理、共有のあり方を具体化しておくことが、重要であることを再認識し、町長を中心とした職員全員の防災意識の向上に有効で

あった。

D I G 訓練では、地域の避難所、避難経路、危険箇所の確認など、地域防災力を把握するとともに、防災に対する住民意識の高揚に有効であった。

来年度もより実戦的な図上型防災訓練実施マニュアル作成のために、「地方公共団体の地震防災訓練(図上訓練)実施要領モデルの作成に関する調査研究事業」を継続し、さらに2市町村において図上型防災訓練をモデル的に実施した上でマニュアルの更なる具体化を図っていく予定です。